

(別紙1)

管理運営状況 評価シート【令和6年度】

(評価日 令和7年6月26日)

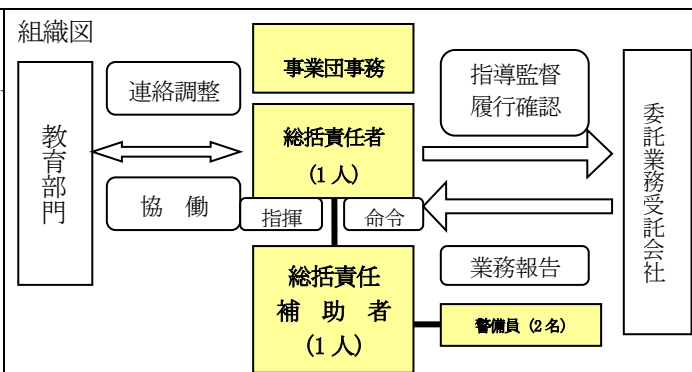
1 施設の概要

施設名	岩手県立県南青少年の家
所在地 電話・FAX HP・電子メール	岩手県胆沢郡金ケ崎町永沢下館 49-1 電話 0197-44-2124 FAX 0197-44-2126 ホームページ https://iwate-sposhin.jp/kennan/ 電子メール kenritukennan@echna.ne.jp
設置根拠	青少年の家条例
設置目的	(設置：昭和56年3月27日) 次代の担い手である青少年に、恵まれた自然環境のなかで、規律ある共同宿泊生活を体験させ、友情、協同、奉仕等の相互扶助の精神を養い、地域社会の発展に寄与する自主的で創造性豊かな青少年の育成を図る。
施設概要	【敷地面積】98,785.21 m ² 【建物面積】4,837.78 m ² 【主な施設】○管理・研修棟 ○体育館 ○宿泊棟 ○キャビン ○付帯施設 ○研修機材等 ○駐車場
施設所管課	岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化財課 (電話 019-629-6171、メールアドレス DB0005@pref.iwate.jp)

2 指定管理者

指定管理者名	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)
連絡先	盛岡市みたけ1丁目10番1号 電話 019-641-1127

3 指定管理者が行う業務等

業務内容（主なもの）	1 施設等の供用に関すること。 2 施設等の維持管理に関すること。 3 施設の利用促進及び指導に関すること。		
職員配置、管理体制	4 名 (令和 6 年 4 月 1 日現在) (内訳) 正職員 1 名 地域職員 3 名		
利用料金	徴収していない		
開館時間	勤務時間 8 時 30 分～17 時 15 分 ※利用団体がある場合は、24 時間	休館日	毎週月曜日（ただし、臨時開所することがある。）、12 月 28 日～1 月 4 日、その他所長が定める臨時の休所日

4 施設の利用状況

(単位：人)

(利用者数、稼働率等)	前期間 平 均	指定管理期間						備考
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	期間平均	
第1四半期	8,982	5,758	7,209	7,066	8,869		7,226	
第2四半期	9,466	4,141	6,852	8,118	8,986		7,024	
第3四半期	5,782	5,135	4,224	6,491	6,744		5,648	
第4四半期	3,193	2,691	2,940	4,985	6,670		4,322	
年間計（実績）	27,423	17,725	21,225	26,660	31,269		24,220	
年間計（計画）		26,800	26,854	26,908	26,962	27,016		

5 収支の状況

(単位：千円)

区 分		前期間 平 均	指定管理期間						備考
			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	期間平均	
収 入	利用料金収入	0	0	0	0	0		0	
	指定管理料	34,335	36,801	38,096	39,038	38,992		38,232	
	自主事業収入	347	515	432	696	454		524	
	小計	34,682	37,316	38,528	39,734	39,446		38,756	
支 出	人件費	7,105	10,883	11,318	12,576	12,880		11,914	
	維持管理費	26,276	26,802	28,382	29,060	29,373		28,404	
	事業費	0	0	0	0	0		0	
	自主事業費	376	457	389	675	393		479	
	小計	33,757	38,142	40,089	42,311	42,646		40,797	
収支差額		925	△ 826	△1,561	△2,577	△3,200		△2,041	

6 利用者の意見等への対応状況

(1) 利用者意見（満足度等）の把握方法

把握方法	利用団体毎に利用評価票を提出いただいている。 利用者総合アンケートを実施している。	実施 主体	県南青少年の家
------	--	----------	---------

(2) 利用者からの苦情・要望

受付件数	苦情 件、要望 17件、その他 件		
主な苦情、要望等		対応状況	
食堂と事務室の連携をしてほしい。 (アレルギー対応児童が欠席した)		欠席児童がアレルギー対応児童かどうかを確認する。	
宿泊棟のドアの開閉音が気になる。		各部屋を点検し、修繕して改善する。	
創作室がとても暑かった。		エアコン設置を要望しつつ、扇風機とサーキュレーターを活用してもらう。	
児童の対応があるため、入浴時間を 22:45 までにしてほしい。		22:00 までに間に合わない場合は事務室に相談してもらう。	
清掃箇所に備え付けの雑巾がなかった。		掃除用具入れを点検し、雑巾を設置する。	
カレー鍋、スプーンの汚れがあった。 (前の学校だと思う)		各学校でチェックを徹底してもらうようお願いする。 職員も定期的に確認する。	

暑くて寝苦しい様子だった。	エアコン設置を要望しつつ、扇風機とサーキュレーターを活用してもらう。
飯盒点検が厳しすぎる大規模校対応は複数にしてほしい。	先生方にもチェックしてもらい、スムーズに点検できるようにする職員が確保できるときは、複数で対応する。
トイレが少し臭う。	定期的な換気に努める。
館内に冷房を付けてほしい。	引き続きエアコン設置を要望していく。
部屋の表示用マグネットが使用できなかった。	対象の部屋を点検し修繕を行った。
とても暑くて寝られなかった。 暑さ対策がされていればよかった。 エアコンがあると良い。	設置については県に要望中。
宿泊室のたんぼぼのドアの開閉音が大きく、 気になった。	ドアと壁が接触することで音が発生していたため、ドアの蝶番の緩みを修繕した。 また、他のドアの見回りを実施し、同様の緩みがないかなどを確認した。
今回は夜が涼しかったのですが、気温が高い 日が続くので、エアコンの設置を希望します。	設置については県に要望中。
キャンプファイヤーの木が燃えにくかった。	雨天が続いたため、木が湿気っていた可能性があるため、薪の保管方法や施設の改善について検討する。
包丁とピーラーの切れ味が悪かった。	調理器具を衛生的で安全に使用できるよう、定期的な点検に努める。
その他利用者からの積極的な評価等 ・子ども達も集中して話を聞くことができとてもわかりやすかったです。 ・お話や声かけが分かりやすく子どもたちがしっかりきいていました。 ・ユーモアもあり適切な指導を頂きました。ありがとうございます。 ・児童への説明が丁寧で分かりやすかったです。川遊びの判断をする時に動画で説明いただき助かりました。ありがとうございました。 ・臨機応変に対応していただいた。 ・親しみやすく生徒たちもすぐにうちとけていた。 ・朝の受付でもポイントとなる活動や場所を確認していただいたのでよかったです。 ・電話、窓口、当日の対応と、とても親切にわかりやすく説明、対応いただきました。ありがとうございました。 ・楽しくたんぼちゃん作りができました。指導員さんありがとうございました！	

7 業務点検・評価（※）

(1) 業務の履行状況

項 目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
管理業務等	1) 公の施設としての公共性を有することを十分に理解し、その趣旨を尊重した管理業務等の実施	県民の施設であることを念頭に、いつでも、誰でも、気軽に、そして公平な利用の確保を図るため、業務内容についての情報公開を適切に行った。また、施設管理部門と教育部門との密接な連携・協働を図るため、所内で十分に協議・協力して管理運営を行った。	B
	2) 県民の平等な利用の確保	できるだけ多くの団体に利用いただけるよう、一般企業等の利用も含め利用形態に対応した受け入れを行った。	

	3) 設置目的を効率的かつ効果的に達成	利用者のニーズを勘案し、年間 11 回の臨時開所を行った。宿泊団体の無い日の体育館の夜間利用は、年間 210 回行った。	
施設の利用状況	1) 目標値の達成 管理運営計画書に掲げる年間利用者数 26,962 人	年間利用者数 31,269 人 対目標値 4,307 人	A
	2) 上記目標値に向けた取組と、増減内容の把握	・社会教育の推進と生涯スポーツの振興を図るために、効率的に管理運営を実施した。特に利用者の要望に的確に対応することができるようアンケートの分析や利用者との事前の打ち合わせを行い、運営に反映させるよう努めた。 ・令和 6 年度の利用者数は 31,269 人であり、前年度に比べ 4,609 人 (17.3%) 増加、計画数値に対しては 4,307 人 (16.0%) 上回った。前年度実績を上回った要因としては、新型コロナウイルス感染症の 5 類移行を踏まえ、市町・地域への積極的な働きかけをおこなった結果、子ども会や公民館等への出前講座及び来所による体験プログラムの利用が増加し、コロナ禍前 (令和元年度 31,771 人) の利用者数に迫ることができた。	
	3) 施設利用促進に係る広報等の実施	・各学校、教育事務所その他団体に要覧・所報の配布を行うとともに、幼稚園、児童館、高校、企業や社会教育担当者などターゲットを絞ったチラシを作成し配布を行った。 ・放課後児童クラブに直接訪問し利用促進活動を図った。 ・マスコミ各社へ主催・自主事業等の開催案内及び取材依頼を行い新聞に掲載いただくなど PR に努めた。 ・ホームページ等を活用し、施設の利用方法や空き状況などを利用者に分かり易く、リアルタイムな情報提供に努め利便性の高い内容になるよう工夫した。 ・インスタグラムを活用し、主催事業の案内や終了事業の写真等を効果的に掲載し広報活動を行った。	
会計業務の状況	適正な会計業務 (収入・支出・契約等) の執行	・事業団会計処理規定に基づき、契約については県会計規則に準じて執行した。 ・事業団会計処理規程に基づき、関係法令等に照らし処理した。また、事業団本部との連携を密にし、関係書類は複数職員で確認するチェック体制を整え処理した。	B
施設の維持管理状況	1) 施設設備の維持管理等業務の適切な実施	・職員による日常管理に加え、委託業者による施設設備の保守委託等により良好な状態を維持するよう努めた。 ・処置が必要な箇所については、速やかに職員または業者による補修・修繕を行った。	B
	2) 公有財産の適切な管理	・日常点検及び安全点検を実施し、異常ある場合はその都度、安全及び利用の可否を判断するなど適切な管理に努め、所内会議において職員間で情報共有を図った。 ・損傷箇所を発見した際には、安全性と機能性を回復するため、速やかに対応することを基本にして、職員で修理できるものは修繕材料を調達し、困難なものは業者に発注し修理した (施設修繕 1 件、設備・備品等修繕 24 件)。 ・老朽化等使用不能の備品は廃棄処分等の整理を進めた。	

	3) 備品について備品台帳との整合性を図る	・3月に一斉点検を行い、備品台帳と照合したほか、体育用備品については破損等の有無を点検し適切な管理に努めた。	
記録等の整理・保管	各種帳票書類の適正な整理保管	・事業団規定に基づき、類型・年度毎に保管管理した。	B
自主事業等の取り組み	施設の設置目的に沿った、利用促進に繋がる方策に基づく事業の実施	・自主事業は予定された全7事業を実施した。「ふれあいフェスティバル」は、昨年度から川遊び体験以外は自由参加で実施した。また、町内の保育園や障がい者支援施設の方に協力いただいたこともあり、過去最高の参加者（916名 前年比1.9倍）に利用いただいた。 ・実施にあたっては、細部まで内容を詰めていくことを常例とし、所外で行う事業にあつては実地調査を行うなどきめ細かなプログラムを提供するよう努めた。 ・地域との連携は、子供会等の出前事業への積極対応や、グランドゴルフ等で地域高齢者の利用促進を進めた。 ・ホームページやInstagramを活用し、リアルタイムで情報提供に努めるとともに、利用者の問い合わせ等を想定した利便性の高い内容になるよう工夫して情報発信に努めた。	B
（施設所管課評価） ・成果のあつた点 ・改善を要する点	○成果のあつた点 新型コロナウイルス感染症の5類移行後の市町・地域への積極的な働きかけの成果により、子ども会や公民館等への出前講座及び来所による体験プログラムの利用が増加し、コロナ禍前の利用者に迫る実績につながった。（R6:31,269人、R5年度比：4,609人増、目標対比：116%） 自主事業については、計画した7事業（全13回）を実施することができ、「ふれあいフェスティバル」は町内各施設の協力も受け、参加者数は過去最高の916人となった（前年比：1.9倍）。 今後も、教育部門（研修業務）と連携の上、自主事業や出前講座による利用者増を、施設の実利用促進につなげられるような取組の推進に期待する。 ○改善を要する点 特になし。		B

(2) 運営体制等

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
職員の配置体制	各業務に適した職員及び必要な有資格者の適正な配置	・管理計画書のとおり防火管理者等の適正配置を行っている。	B
苦情、要望対応体制	利用に関する各種問い合わせや要望及びトラブル等の適切な対応	・寄せられた提言に対しては、利用者等の立場で適切かつ迅速に対応し、その結果を最大限取り入れた業務改善を継続することにより、利用者等の信頼と満足度の向上を図るよう努めた。 ・利用評価票における意見・要望等は職員間で共有を図り速やかに改善するよう対応に努めた。	B
危機管理体制（事故、緊急時の対応）	災害時・緊急時の対応や、防犯・防災対策として、マニュアルの作成や訓練の実施	・事業団危機管理対応要綱及び危機管理要領に沿って作成した「非常時対応マニュアル」を随時補正し、有事の対応に万全を期した。 ・自衛消防訓練及び消火訓練など年2回実施した。	B

コンプライアンスの 取組み、個人情報の取 扱い	基本協定に基づく秘密の保持、個人情報 保護及び法令遵守の確保 個人情報に関する書類の適切な保管管 理	・年度初めに「コンプライアンス マニュアル」の再確認をするのと ともに、毎月職員がコンプライア ンスに関する自己取組みを発表し、 意識の高揚に努めた。 ・コンプライアンスマニュアルに 従い、個人情報が記載された書類 等はキャビネットで管理するとと ともに、廃棄する場合は、シュレ ッダー破碎等により外部に流出し ないよう管理を行った。	B
県、関係機関等との連 携体制	基本協定に基づく関係機関等との協力 連携及び良好な関係の維持	・協定書に基づく諸報告等につ いては、期限を遵守するとともに、 事業団本部と連携を密にし、適正 に処理を行った。 ・県による会計実地検査及び事業 団内部事務調査における指導事項 は無かった。	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	○成果のあった点 概ね適正に運営されていると認められる。 ○改善を要する点 特になし。		B

(3) サービスの質

項 目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価 指標
サービス向上の取組 み	サービス向上のための研修等の実施	・県及び事業団が主催する研修会 に積極的に参加した。 ・接遇研修を受講後、所員に伝達 講習を行い、サービス向上を徹底 した。	B
利用者サービス	利用者サービス向上に向けた方策に基づ く、適切な利用者サービスの実施 1) 利用者の要望に応じた施設開所 2) 利用者の意見を反映させた青少年育成 事業の実施 3) 青少年育成の場として適正な施設環境 及び設備機能の維持（衛生環境保持、安 全点検、修繕等） 4) 障がい者等特別な配慮が必要な利用者 に対する柔軟な対応、施設設備の整備	・利用者のニーズに合わせて、休 所日である月曜日を11回、臨時開 所するとともに、宿泊団体の利用 がないときの夜間の体育館を210 回開放するなど、利用者の便宜を 図った。 ・利用者の意見を反映した事業内 容を検討し、開所時間や開所日の 弾力的な運用等を実施した。 ・適正な施設環境及び設備機能の 維持のため、必要に応じ専門業者 へ維持保全に関する業務委託を行 った。また、定期的な安全点検の 実施、速やかな修繕対応に努め た。 ・主催事業に障がい者の方に参加 いただいたことで、身障者トイレ 等の課題を把握し、改善について 県へ予算要求を行った。	B
利用者アンケート等	1) 利用者アンケートや意見箱の設置によ る利用者ニーズの把握 2) アンケート結果に基づく業務改善	・利用者には団体利用の都度、利 用評価票の提出をお願いし、多様 化する利用者ニーズの把握を行っ	B

		た。 ・事業団共通アンケートの集計、分析を行い、「施設」・「職員」・「満足度」の評価結果を職員で共有するとともにホームページに掲載するなど、施設運営や事業計画に反映させ、サービスの向上を図った。また、エアコン設置など大規模改修については県へ要望した。	
(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	○成果のあった日 休所日の臨時開所（11 日）や体育館の夜間開放（210 回）を行うなど、利用者のニーズに合わせた運営を行っているほか、利用者アンケートの実施結果を職員で共有し、施設運営に活かしている。 ○改善を要する点 特になし。		B

(4) サービス提供の安定性、継続性

項 目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
事業収支	管理運営計画における収支の積算に対する適正な収支実績	・会計諸帳票は、公益法人会計基準に定められたとおり作成しており、運営計画との整合性が図られている。 ・収支実績は、限られた予算の中で計画的に予算執行を行い施設運営ができた。	B
指定管理者の経営状況	経営基盤の安定及び計画に沿った管理能力	・公益法人としての活動について、毎年、公益認定委員会の評価を受けている。 ・当事業団は、昭和 60 年の設立以来、借入金及び貸付金等はない。 ・業務を適正に成し得るだけの有資格者、経験者を有しているほか、職員の資質向上にも努めており、十分な管理能力を保持していると考える。 ・経費縮減等の努力を継続して行っている	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	○成果のあった点 概ね適正に運営されていると認められる。 ○改善を要する点 特になし。		B

※（注 1）県記載欄：「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」

指定管理者記載欄：「実績（自己評価）」

（注 2）評価指標

- A：協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績（効果）があり、優れた管理がなされている。
- B：概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績（効果）があり、適切な管理が行われている。
- C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
- D：協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

(1) 指定管理者の自己評価

① 成果があった取組み、積極的に取り組んだ事項

- ・ 校外の子どもの居場所における体験活動の支援として、「放課後等デイサービス」や「子ども食堂」との連携を行い、対象別に施設活用を促す提案チラシの配付、連携協議では、「市町職員・地域づくり職員等研修」、「児童会・生徒会リーダー研修」、「冬休みの学童クラブ支援」等のチラシ配布し、専北福祉専門学校・金ケ崎高校・金ケ崎中学校の校長との連携協議を行った。
- ・ 金ケ崎町グラウンド・ゴルフ協会と連携し事業団理事長杯グラウンド・ゴルフ大会へ参加し、高齢者の利用促進が図れた。
- ・ 大人を対象とした事業を近隣の市町広報誌に掲載を依頼し、広く地域住民の方に周知を図り参加者の増に繋ぐことができた。
- ・ 「ふれあいフェスティバル」は川遊び体験以外を自由参加とし、新聞や市町広報の活用、金ケ崎町及び奥州市の小学校にチラシを配布するなど、過去最高の参加者に利用いただいた。
- ・ 年間 11 回の臨時開所により、利用者の利便性を図った。
- ・ 夜間の体育館を開放し、近隣のスポーツチームやスポーツ少年団の活動場所を提供するなど、利用回数は 210 回であった。
- ・ 近隣スケート場閉鎖に伴い金ケ崎町内小学校の冬期活動場所が無くなり冬の運動ニーズに応えるため、クロスカントリースキーの用具と受入態勢を整備した。
- ・ 夜間の体育館利用で概ね週を通して利用する場合は、「施設使用許可申請書」一枚に利用期間の始期と終期を記載し、備考欄に各日の内訳を記載することで申請書作成枚数を削減し、利用者の負担軽減を図った。また、備考欄に「減免申請希望 有・無」の記入項目を設け申請者の意思確認を書面で行うことで、減免手続きを適正に処理した。
- ・ 毎年度発行している「要覧」と「所報」を見直し、内容や構成をコンパクトにまとめ、合併したものを発行し経費の圧縮を図った。
- ・ 宿泊利用者への入所オリエンテーションを、これまでの指導員による説明から動画DVDを作成し見ていただくことで、利用者がより分かり易いよう工夫し、改善を図った。
- ・ 花壇や玄関脇プランターに夏花を植え、景観環境にも配慮して利用団体を迎えた。
- ・ 委託業者と「給食会議」を開催し、利用者ニーズに対応した食事の提供等により好評を得た。

② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項

- ・ 施設の老朽化による破損が多発しており、予算的な制約もあり職員が応急対応することも多い。職員の負担も大きく、原因が解消されない限り根本的な解決とはならない。築 44 年を迎える施設群のため、設備の不具合が複数同時に発生しており、優先順位の判断も難しくなっている。
- ・ インスタグラムを活用し当所の施設の紹介や年間行事と提供プログラムの紹介等、魅力ある事業の情報の提供を行い、利用者が気軽に参加できる場の提供を今後も継続していく。
- ・ 隣接するスケート場の閉鎖に伴い、クロスカントリースキー用具を整備し金ケ崎町内小学校の冬の活動場所としてのニーズに応えるとともに、閑散期の利用促進に努める。
- ・ 宿泊利用者がいない夜間の体育館の開放などに今後も努める。

③ 県に対する要望、意見等

- ・ 施設設備の老朽化が進んでいることから、施設の長寿命化計画（長期修繕計画）の策定を要望する。施設設備の最適化時期が明示された当該計画を共有することで、研修活動プログラムの改良や新規開発等のソフト面の充実及び利用者からの苦情対応においても具体的で丁寧な説明が可能になるものとする。
- ・ 未だ未着工の県営修繕工事（①案内標識補修工事、②野外施設修繕工事）について、早期の着工を要望する。
- ・ 建物関係は、体育館屋根の雨漏りが全面的に発生している。施設は「大規模災害時における指定避難所としての使用に関する覚書」を金ケ崎町と岩手県において取り交しており、避難所として機能するためにも早急な改修が望まれる。
- ・ 近年の酷暑により利用者及び職員の健康管理上大きな不安を抱えている。施設内の冷房設備は食堂・医務室のみのため、体調不良者の休養や執務の効率化のため、宿泊棟、当直室及び事務室等のエアコン設置をお願いしたい。
- ・ 宿泊棟や浴室の電力容量（20A）の不足が原因で、朝の一斉清掃やドライヤー使用時に電力遮断があり利用者に不便を強いている。また、エアコンも利用者から多くの要望があることから、これらを整備することで、各種学校や企業の利用促進に繋げたい。
- ・ キャンプ場及び多目的グラウンドの水はけが悪く降雨後数日間は野営希望団体のテント設営の場所に苦慮している。グラウンドコンディションが悪く利用団体に不便をかけている状況にあるため、暗渠排水等改修が望まれる。
- ・ 再委託を行っている清掃業務等の委託料について、近年の物価・人件費の急激な高騰により、入札が成立しなくなっていることから、指定管理料の増額を要望する。（R5実績 15件 11,933,216円、R6実績 15件 12,195,414円 差額（増加額） 262,198円）

(2) 県による評価等

① 指定管理者の運営状況について

施設の臨時開所や、利用者層の拡大につながる事業の実施及び広報活動を適切に行っており、施設利用者からも一定の評価を得ている。

② 県の対応状況について（自己評価）

毎月の定期報告により施設の管理状況・利用状況を把握するとともに、施設・設備の老朽化が進んでいることから、指定管理者及び教育企画室施設整備管財担当との連携により、要修繕箇所を把握し優先順位を整理して施設改修・環境整備を行った。

③ 次期指定管理者選定時における検討課題等

管理料積算にあたり、人件費や物価の変動等を適切に反映するよう検討する。

9 改善状況等

改善を要すると評価された項目（C、D評価の項目について）

該当なし

改善状況

（指定管理者から県への報告年月日：令和 年 月 日）

改善状況の確認

（確認年月日 令和 年 月 日）